原著者まえがき

ホリスティックな医療のことを専門にする医学ジャーナリストとして、私はこの古くてかつ最近評価が高まっている医薬について知ることになった。それは細菌類を抑えたり殺したりできるものなのだった。私は三つのルートからオリーブ葉エキスに関する情報を知るようになった。一つは栄養補給食品（健康食品）の開発研究者S・A・レビン博士からで、博士は私にオリーブの樹に含まれる抗菌作用を持つ主要成分、オーレユーロペンのことを教えてくれた。もう一つはオリーブの実や油を多用する地中海地方の食事のことを調べて来た私は、オリーブの樹から取れる産物の有用な効果についてずっと前から知っていたということだった。

そして私自身、オリーブ油を料理に使ったり、パンに塗ったり、サラダのドレッシングとして使ったりして来たほかに緑、金、黒のいろいろな色のオリーブの実も常用して来た。

スペインのマドリッドに本部のある二三か国政府が会員になっている国際オリーブ油会議（ＩＯＯＣ）は、オリーブ油に関する研究を沢山積み重ねてきた。また同時にＩＯＯＣはオリーブの樹が人類にもたらす恩恵についていろいろな色のオリーブの実だけではなく、薬の効果に関しても調べ、多くの効果を明らかにして来た。そしてほんの昨年明らかにされたのは、オリーブの葉を食べることはオリーブの実や油を使うよりももっといいかも知れないという事実だっ

た。私はホリスティックな医学雑誌『医者と患者のためのタウンセンド・レター』（Townsend Letters for Doctor & Patients）に連載コラムを持っているが、ここに書いた「オリーブ葉エキスの持つ抗菌作用」という記事ほど読者の反応が多かった記事はなかった。これは同誌の一九九六年七月号に書いたものである。一五〇〇件を超える電話、手紙、Eメールのファックスが寄せられたのであり、これは今でも続いている。オリーブ葉のエキスがどのように細菌をやっつけるのかとか、どこでそれが入手できるのかといった質問に答えるのには二週間フルに忙殺された。そして私はこれに促されてもっとオリーブ葉エキスのことを調べるようになり、その結果として生まれたのが本書である。

ごく最近、つまり昨年の初め、オリーブ葉の中の治療効果を持つ成分はオリーブ油業界に打撃を与えるものになった。これについて読者は本書で知るはずである。しかし現在は人類を（同時に動物も）全ての種類の病原菌感染から救うために同じ成分が利用されるようになっている。オリーブ葉のエキスは病原菌類を殺す。有効成分はエレノール酸カルシウムの形で化合物になっているエレノール酸というもので、これが風邪、インフルエンザ、流行性耳下腺炎（おたふくかぜ）などのほか非常に多くの感染症に予防効果を発揮し、同時にこれらの感染症のどれの治療にも効く。

オリーブ葉のエキスは製品としては有効成分を粉末化して、呑みやすくカプセルにしてある。感染症の予防にも治療にもオリーブ葉エキスが有効なのを知ってから、私も妻のジョアンもこれを病気の予防のために服用している。これをサプリメントとして使うことは健康のレベルを最高レベルに向上させ、それを維持させるのに役立つ。

医学博士　モートン・ウォーカー
コネチカット州スタンフォードにて